

福井県愛鳥教育研究会について

八田 七郎右エ門

1 愛鳥モデル校の設置

わが国の鳥獣の保護は、つい最近まで狩猟法の中で極めて片隅で名目のみの命をつないできた。自然の豊かさに恵まれてきた歴史の中では宗教とからんで潜在的には自然を尊重する気風があったのだろうが、行動の中で或は教育や行政の中で保護について考えられていなかったようである。小学校理科教科書には「森林の保護」の中に野鳥についての記述が1ページあったが、昭和33年の改訂で削除されてしまった。

日本野鳥の会全国大会での報告では昭和36年頃から各地で野鳥の住み家が失なわれている現状が訴えられていた。昭和32年に武生市および小浜市で発見された特別天然記念物「コウノトリ」の保護は全国の関心の的となり、県民の間でも保護思想の芽生えをみたが、鳥獣一般に拡大することは困難であった。そこで関係機関の肝入りで学校を対象とした「愛鳥モデル校」が誕生した。昭和39年のことである。指定をうけた学校は北日野小、国富小、花筐小に始まる。

2 愛鳥教育研究会の誕生

翌40年には7校が追加され、お互いが連絡し合い研修するために愛鳥教育研究会として発足し、野鳥保護推進のための行事に積極的に参加するに至った。その後愛鳥教育が人間育成に大切な豊かな心づくりの実践活動であることに賛同される学校がふえて現在は30校におよんでいる。そして、自然環境の保全を全うするために環境庁が新設され、本県にも自然保護課が開設されて野鳥保護の事業は林務課から移管された。

3 活動の現況

(1) 福井県野鳥保護協会への加入

保護思想、保護活動の推進について目的を同じくする日本野鳥の会福井支部と、福井県鳥獣保護委員会と趣旨に賛同される県民の方々とで組織される福井県野鳥保護協会(会長 竹内武県議)が昭和48年に設立された。

(2) 巣箱、給飼台、水場の製作と架設、

県からの委託、モデル校として独自に或はロータリークラブからの好意を頂いて、公園や学校自然の森や家庭へ架設して観察や記録を行ない保護にあたる。

製作や架設活動は児童生徒にも受けがよく、製作に当たっては不向きであっても真心がこもっているという声や、架設時の野外活動への喜びの声も多く聞かれる。巣箱利用の状態の喜びや、いたずらへの怒り、餌台へ来る鳥への愛情、水飲みや水浴への関心等は野生生物への関心へと広がり、学校の雰囲気づくりと共に中には大変な興味を示す子もあり、これが家庭や一般

社会へも大きく影響してその輪は次第に拡大されてきている。

(3) 傷病鳥獣の保護

特に冬期や悪天候時に多いのだが四季を通して傷病のためにたおれる鳥獣が数多くあることがよく報道されているが、これらの救済処置については自然保護課の指導を受けて保護治療に当たり、回復への愛情をそそぎ、また餌あつめや餌代のカンパをする等情報交換などの協力を行なう。このことは愛鳥モデル校だけでなく多くの学校や有志の間にも広まってきている。

(4) 愛鳥週間行事

探鳥会では野鳥の姿を目のあたりにし、鳴き声と合わせて名前を知ることによって親しみを覚えたり、記念講演で野鳥愛護の重要性の理解を深め、愛鳥と愛林、野鳥の飼育を根絶し、県鳥を愛護し、野鳥観察、野鳥感謝等それぞれの主旨の徹底を図る。冬期も実をつけているマサキ、ピラカンサ等の食餌植物の植栽を行なう。

(5) ソ連との国際親善

冬の渡り鳥を縁に敦賀市松原小学校とナホトカの小学校とで愛鳥姉妹校の約を結び昭和47年に青年の船に愛鳥活動を表わしたアルバム、手紙、図画を託し、その返礼も受けており、昭和49年に日ソ渡り鳥保護条約が結ばれた。丹南地方が渡り鳥保全地域に指定された今日この意義はますます増大されるものと思われる。

(6) 鳥獣保護実績優良校全国大会への参加

鳥獣の保護活動が人間形成に寄与した経過をそれぞれに発表し合い、県代表として敦賀西小が出席して全国大会において意見を述べ、文部大臣賞表彰を受けるなど優れた成績をおさめることができた。

(7) 県民運動推進への参加

愛鳥研結成後われわれの活動は有形無形に県民に種々の影響を及ぼしてきたことゝ思うが、昭和50年度の「伸びゆく福井県民運動実践グループ」のふるさと部会の一員に指定された。

ふるさとづくりの運動として

ア. ふるさとの緑をふやす運動の展開

(常緑・落葉の混交、食餌植物の計画的な植栽を願いたいものである。)

イ. 野鳥愛護運動の推進

ウ. 市町村におけるふるさとの樹木指定運動の展開

エ. ふるさとを見直す月間の実施

が、あげられており、全く時宜に適ったもので自然保護課・県教育委員会の指導でますます充実して行くものと思われる。

4 おわりに

愛鳥教育研究の概略と活動の概要とを述べたが、会への加入は別としてこの主旨にご理解を願う個人・団体を問わず、有形無形のご援助を切に願いたい。(福井県愛鳥教育研究会長)